



公益財団法人 日本国際問題研究所

〒100-6011 東京都千代田区霞が関三丁目8番1号 虎の門三井ビル3階
TEL:03-3503-7291 FAX:03-3503-7292

3DCG画像による尖閣諸島上空のアホウドリ視点での飛行デモの公開について

令和2年1月21日

公益財団法人 日本国際問題研究所

日本国際問題研究所では、外務省の補助金を受けて実施している「国際共同研究支援事業費補助金事業（領土・主権・歴史調査研究支援事業）」の一環として、尖閣諸島の歴史及び自然についての対外発信を目的とし、尖閣諸島上空をアホウドリ視点で飛行するデモ映像「アホウドリ、40年前の尖閣諸島上空を飛ぶ」を作成いたしました。

同デモ映像は、本日1月21日以降、日本国際問題研究所の図書・資料閲覧室（虎ノ門三井ビル3階）及び内閣官房領土・主権対策企画調整室の領土・主権展示館（虎ノ門三井ビル1階）において、公開いたします。

同デモ映像では、尖閣諸島のうち、魚釣島、南小島、北小島について、衛星から得られたこれらの島の地形情報の上に、1978年に撮られた航空写真を合成し、当時の島々の姿を再現しています（以下の参考画像を御参照ください）。

特に、魚釣島については、1978年にヤギが放たれ、急増した結果、その食害によって近年では生態系が大きな影響を受けていることが確認されています。尖閣諸島の自然が持っていた本来の姿をお伝えするため、当時の様子を再現したものです。

同映像では、アホウドリの視点で1978年頃の尖閣諸島上空を飛びつつ、同諸島の自然や歴史をナレーション及び写真で紹介します。

（以下はいずれもCG映像:1978年当時を再現）



魚釣島・旧古賀村付近上空



北小島周辺海域上空



北小島上空から南小島方向



アホウドリ

アホウドリは、日本では伊豆諸島の鳥島や尖閣諸島などのごく一部の島にしか生息していない貴重な鳥で、特別天然記念物及び絶滅危惧Ⅱ類(VU)（環境省レッドリスト）に指定されています。明治時代には非常に多くが日本に飛来していましたが、その後、羽毛を目的とした乱獲などにより個体数が激減し、尖閣諸島では1909年の調査を最後に、生息に関する情報が途絶えていました。しかし、1971年に南小島と北小島でアホウドリの個体が再確認され、その後、両島での繁殖も再確認されています。

現在、上述の1978年の3DCG地図を活用して、これまでの尖閣諸島における科学調査の成果や歴史を紹介するソフトウェアも、今年度中の公開を目指して開発中です。